

第162期

中間決算のご報告

2023年4月1日

2023年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ
報告セグメント別概況
トピックス
会社情報
統合報告書発行・
株主アンケートのご案内

DEKA
Add Goodness

証券コード 4401

社会課題の解決を通じて、株主の皆様の期待を上回る利益を生み出せる 「コングロマリット・プレミアム」な企業グループを目指してまいります

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第162期中間期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業概要についてご報告申し上げます。
当中間期における世界経済は、低成長ながらも回復が続きましたが、ウクライナ情勢に伴う資源・エネルギー価格の高騰やインフレ抑制を目的とした世界的な金融引き締めの影響、さらには中国経済の減速が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

中期経営計画『ADX 2023』の最終年度企業価値向上に向けて着実に施策を実行

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、半導体不足等サプライチェーンの混乱で低迷した自動車生産が着実に回復しました。ICT・家電分野は、個人消費の減退や買い替えサイクルの長期化により、スマートフォンやパソコンの販売低迷が続きました。食品分野は、行動制限の緩和やインバウンド需要の回復により土産物や外食

の需要が回復しましたが、物価上昇に伴う消費者の節約・低価格志向は根強く、厳しい事業環境が続きました。農業分野は、天候不順や過年度の流通在庫の影響から、国内外ともに農業需要は弱含みで推移しました。

当社グループは2023年度に中期経営計画『ADX 2023』の最終年度を迎えます。社会価値と経済価値の追求による企業価値向上に向けて、計画した施策を着実に実行していきます。樹脂添加剤では、循環型社会の実現に貢献する「アデカシクロエイド」シリーズにおいて、新たにリサイクル樹脂向けの光安定剤ワンパックタイプを市場投入しました。情報・電子化学品では、成長が期待できる半導体分野への投資を積極的に実行しており、韓国で生産する先端半導体メモリ向け高誘電材料の設備増強を決定、また、千葉工場で建設を進めてきたEUV（極端紫外線）フォトリソト向け光酸発生剤の生産設備が稼働しました。ライフサイエンス事業では、化学合成農業以外の事業ポートフォリオ拡充を目的として、英国のアジュバント等の添加剤やバイオスティミュラントの製造・販売会社であるInteragro (UK) Limitedの全発行株式を、

Nichino Europe Co., Ltd.が取得しました。また、インドにおいて、新規水稲用殺虫剤ベンズピリモキサンに加え、複数の農業原体を製造できるマルチパーパスプラントが竣工しました。なお、本プラントはインド当局での許認可手続きを経て、2023年度中の稼働開始を予定しています。グループシナジーの創出では、当社と日本農業の技術を結集した共同研究において、抗寄生虫剤として期待される化合物群を見出し、2023年7月に本件特許出願4報が世界的財産機構より国際公開されました。サステナビリティの取り組みでは、「2030年：GHG排出量46%削減（2013年比）、2050年：カーボンニュートラル」の実現に向けて、インターナルカーボンプライシング制度と再生可能由来電力の導入を開始しました。

当中間期の配当金は1株につき40円を予定

当中間期の業績につきましては、売上高は1,876億60百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は147億98百万円(同2.1%減)、経常利益は155億31百万円(同5.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は105億50百万円(同5.7%増)となりました。

当中間期の配当につきましては当初の予想通り1株につき40円（前年同期35円）とさせていただきます。なお、年間配当につきましては、中間配当金と併せて1株につき80円（前期70円）を予定しております。

「コングロマリット・プレミアム」な企業グループへ

中期経営計画『ADX 2023』の始動以来、パンデミックや気候変動、さらには地政学リスクの高まりにより、複雑で多様な社会課題が顕在化し、世界の潮流が大きく変化しております。

多様で強靱な事業ポートフォリオの構築に力を尽くし、社会課題の解決を通じて、株主の皆様の期待を上回る利益を生み出せる「コングロマリット・プレミアム」な企業グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営及び事業につきましてご理解いただき、今後とも一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

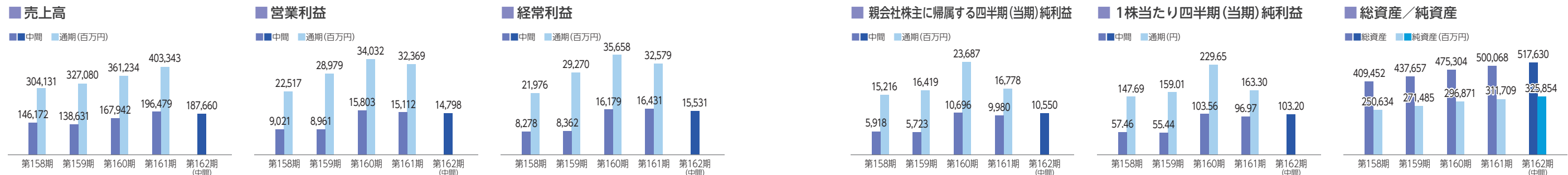
2023年12月

株式会社A D E K A
代表取締役社長 兼
社長執行役員

城 詰 秀 尊

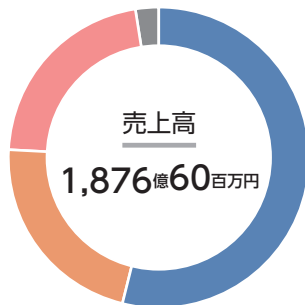


財務ハイライト



※第160期は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。

報告セグメント別概況

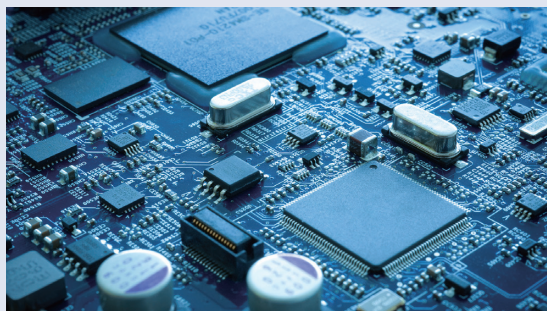
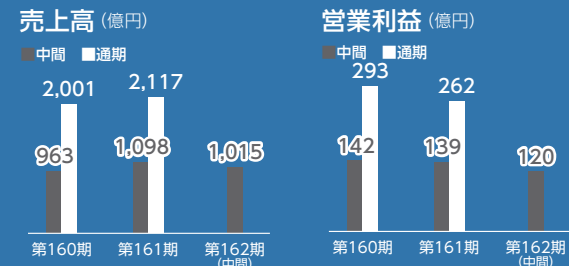


第162期中間報告セグメント別売上高構成比

化学品事業	54.1%
食品事業	22.0%
ライフサイエンス事業	21.7%
その他の事業	2.2%

化学品事業

売上高 1,015億55百万円 (前年同期比 7.6%減)
営業利益 120億41百万円 (前年同期比13.7%減)



樹脂添加剤

自動車向けでは、自動車部材に使用される核剤、光安定剤やゴム用可塑剤の販売が堅調に推移しました。建材向けでは、塩ビ用安定剤の販売が低調に推移しました。食品包装向けでは、透明化剤の販売が低調でした。ポリオレフィン樹脂に使用されるワンプック顆粒添加剤や酸化防止剤は、販売が苦戦しました。難燃剤は、筐体等に使用されるエンジニアリングプラスチック向けの販売が低調でした。一方、ポリオレフィン樹脂向けの難燃剤は販売が堅調に推移し、またEV（電気自動車）用途での採用が進みました。

情報・電子化学品

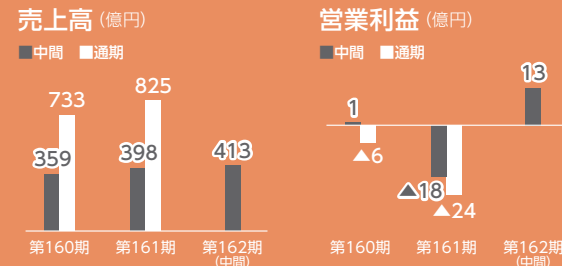
半導体向けでは、上期全体では先端DRAM向け高誘電材料の販売が好調に推移し、先端フォトレジスト向け光酸発生剤の販売も堅調でした。一方で、プリント基板等に使用される電子部品用エッチング薬液の販売が低調でした。ディスプレイ向けでは、カラーフィルター向け光重合開始剤、ブラックマトリクス及びエッチング薬液の販売が堅調に推移しました。一方で、光学フィルム向け光硬化樹脂は、販売が低調でした。

機能化学品

自動車向けでは、エンジンオイル用潤滑油添加剤の販売が好調に推移しました。また、自動車の構造用接着剤向けエポキシ樹脂や車載用電子部品向けエポキシ樹脂接着剤の販売が底堅く推移しました。建築塗料向けでは、反応性乳化剤の販売が好調に推移しました。一方で、水系樹脂や特殊エポキシ樹脂の販売が低調でした。化粧品向け特殊界面活性剤は、販売が低調でした。工業用途で使用されるプロピレングリコール類や過酸化製品は、販売が低調でした。

食品事業

売上高 413億83百万円 (前年同期比3.8%増)
営業利益 13億2百万円 (前年同期は18億85百万円の営業損失)

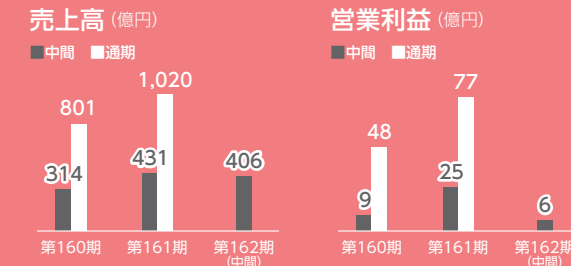


国内の製パン、製菓用マーガリン、ショートニング類は、食料品高騰による消費支出減や最終商品のダウンサイジングの影響もあり、販売数量が減少しました。一方で、人流の回復を受け、土産菓子向けのマーガリン類やフィリング類の販売は好調に推移しました。機能性マーガリン「マーベラス」シリーズは新製品の販売が堅調でした。プラントベースフード「デリプランツ」シリーズは、製品ラインナップの拡充と市場浸透に向けた提案を押し進め、採用が増加しました。海外では、中国がコロナ前の水準には至らないものの需要が戻りつつあること、東南アジアで販売が堅調に推移したこと、価格改定が進捗したこともあり、売上、利益ともに回復が進みました。



ライフサイエンス事業

売上高 406億66百万円 (前年同期比 5.8%減)
営業利益 6億99百万円 (前年同期比72.7%減)



農薬は、国内では天候不順や過年度の流通在庫の影響等から販売が低調に推移しました。海外では、ブラジルで多雨によりサトウキビ向け除草剤の需要が底堅く推移したことなどから、販売が堅調に推移しました。インドでは棉や野菜分野で普及拡大を進めている殺虫剤トルフェンピラドやピリフルキナゾンをはじめとした自社開発品目を中心に販売が堅調に推移しました。一方で、北米では例年よりも害虫の発生が少なかったことから殺虫剤の需要が減少し、販売が低調に推移しました。医薬品は、海外向けで需要が減少したことから外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の販売が低調に推移しました。



トピックス



トピックス 1 2023年度「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に初選定

「JPX日経インデックス400」は、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数で、当社は初めて選定されました。当社は、ありたい姿である「ADEKA VISION 2030 ～持続可能な社会と豊かな暮らしに貢献するInnovative Company～」の実現を

目指しております。引き続き、株主価値の最大化はもとより、社会価値と経済価値の追求により、さらなる企業価値向上を図ってまいります。



トピックス 2 新規動物薬創薬に向けた取り組み ～ ADEKA×日本農薬 ～

当社と日本農薬株式会社は、ライフサイエンス分野の技術連携による新製品の創出を目指した共同研究を進めております。

このたび、本共同研究のうち動物用医薬品創薬を目指した取り組みにおいて抗寄生虫剤として期待できる化合物群を見出し、2023年7月6日に本化合物群に関する特許出願4報が世界知的財産機構（WIPO）より国際公開されました。本共同研究を加速し、本化合物群の動物用抗寄生虫剤としての可能性を追求してまいります。



会社情報

会社の概要 (2023年9月30日)

設立 1917年1月27日
 資本金 23,048,145,172円
 従業員数 5,579名(連結) 1,840名(単独)

取締役 (2023年9月30日)

代表取締役社長兼社長執行役員 城 詰 秀 尊
 代表取締役兼専務執行役員 富 安 治 彦
 取締役兼執行役員 志 賀 洋 二
 取締役兼執行役員 安 田 晋
 取締役(社外) 永 井 和 之
 取締役(社外) 遠 藤 茂
 取締役(社外) 堀 口 誠
 取締役 常勤監査等委員 田 谷 浩 一
 取締役 監査等委員(社外) 奥 山 章 雄
 取締役 監査等委員(社外) 平 沢 郁 子

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
 中間配当：9月30日
 公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式の状況 (2023年9月30日)

発行可能株式総数 400,000,000株
 発行済株式総数 103,768,142株
 当期末株主数 6,996名(前期末比388名減)

大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,931	11.63
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,929	9.68
3	朝日生命保険相互会社	4,053	3.95
4	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,770	3.67
5	ADEKA取引先持株会	3,156	3.07
6	全国共済農業協同組合連合会	2,334	2.27
7	農林中央金庫	2,244	2.18
8	日本ゼオン株式会社	2,188	2.13
9	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	2,088	2.03
10	昭和興産株式会社	1,870	1.82

(注) 当社は自己株式1,208,448株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式事務手続きのお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

- 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

統合報告書発行・ 株主アンケートのご案内

統合報告書「ADEKAレポート2023」発行のご案内

当社グループ初の統合報告書「ADEKAレポート2023」を2023年9月に発行しました。株主の皆様をはじめとしたステークホルダーの方々に、中長期の企業価値向上に向けた取り組みをお伝えるコミュニケーションツールとして編集しましたので、是非ご一読ください。

今後も、本レポートの発行を通じて事業活動を深化させるとともに、皆様に当社グループをより深くご理解いただくことを目指してまいります。



詳細はこちらから

https://www.adeka.co.jp/ir/library/pdf/corporate_report2023_full_j_high.pdf



株主アンケートご協力のお願い



株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。
- ご回答いただいた方に当社グループ会社製品「あでか生活 コーンポタージュ」を進呈させていただきます。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

アクセス方法

パソコンから

右記のURLからアクセスいただけます。 <https://q.srdb.jp/4401/>

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。

※携帯電話の機種により、使用できない場合もございます。



【個人情報の取り扱いに関して】

お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、個人情報に関する取り扱いに関しての詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)の通りです。



株式会社 ADEKA

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

くらしのなかのADEKA

https://www.adeka.co.jp/special_contents/



IRページ

<https://www.adeka.co.jp/ir/>

